

**製品名: HSD11B1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87154**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:32 kDa; Observed MW:36 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HSD11B1
別名	HDL; 11-DH; HSD11; HSD11B; HSD11L; CORTRD2; SDR26C1; 11-beta-HSD1
遺伝子 ID	3290
SwissProt ID	P28845
免疫原	ヒト HSD11B1 の合成ペプチド

**背景**

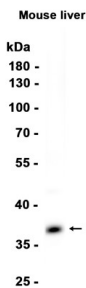
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ストレスホルモンであるコルチゾールを不活性代謝物であるコルチゾンに変換する

ミクロソーム酵素です。さらに、このタンパク質は逆反応、すなわちコルチゾンからコルチゾールへの変換も触媒します。コルチゾールの過剰は中心性肥満につながる可能性があり、この遺伝子の特定の変異は小児の肥満およびインスリン抵抗性と関連付けられています。この遺伝子と H6PD (ヘキソース-6-リン酸脱水素酵素 (グルコース-1-脱水素酵素)) の変異は、コルチゾン還元酵素欠損症の原因です。選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2011年5月]

## 研究分野

-

## 画像データ



HSD11B1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス肝臓組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。